

地球環境の未来を考える、科学的な評価と問題解決への道筋



放射能汚染、食と健康リスク、砂漠化、ゴミ問題など、現代社会には様々な環境問題が存在しています。本シンポジウムでは、愛媛大学と総合地球環境学研究所の研究者・大学院生を中心に、世界各地で進行している多様な環境問題について議論します。環境問題に対してどのような科学的評価を行っているのか？問題解決への道筋は？学際的な視点・研究アプローチを通して地球環境の未来を考えます。

- 日時：2013年6月22日(土)
9:30~17:00 (9:00 受付開始・入場無料)
- 会場：愛媛大学理学部講義棟S-31

*ご来場は、公共交通機関をご利用下さい (伊予鉄道市内電車「赤十字病院前」下車, 北へ徒歩約5分)

<プログラム>

- 9:30~12:45 東アジアにおける環境問題 (フィリピン・インドネシア・日本の6講演)
~ 昼休憩 (12:45~13:45) ~
- 13:45~14:30 ポスターセッションコアタイム
- 14:30~16:00 アフリカ・ユーラシアにおける環境問題 (シベリア・マダガスカル・アフリカサヘル地域の3講演)
- 16:10~17:00 総合討論「環境問題、解決への道筋は？」
- 17:30~19:00 懇親会 (懇親会にご参加頂ける方はシンポジウム当日にお知らせ下さい)
- 19:30~ 特別企画・音楽で楽しむ二次会 (京都市立芸術大学若手音楽家の生演奏)
「松山・京都：文化の街の音楽共鳴 ~地球環境の未来を描く音楽会~」



*事前申し込みは不要です。どなたでもご参加いただけます。

お問い合わせ：愛媛大学理学部地球科学科 斉藤哲 (電話：089-927-9647、E-mail: saitotetsu@sci.ehime-u.ac.jp)

講演スケジュール・演者紹介

世界各地で進行している多様な環境問題について、研究成果をわかりやすくご講演頂きます。学生さん・一般の方もぜひご参加下さい。

すべての講演終了後に、「環境問題、解決への道筋は？」と題した総合討論を、学際的な視点から行います。(英語講演の同時通訳はございません)



(9:30~10:00) 東南アジアにおける生態系の異変と食糧安全保障のゆくえ (日本語講演)
Impacts of Ecological Degradation on Food Security in Southeast Asia (in Japanese)

嘉田 良平(かだりょうへい) 総合地球環境学研究所 教授・プロジェクトリーダー

専門は環境経済学、食品安全論。京都大学農学部、農林水産省政策研究所などを経て、2007年より横浜国立大学大学院教授、2010年7月より現職。環境保全型農業の必要性を提唱し、里山・地域再生にも取り組む。



(10:00~10:30) 食と健康の安全保障に向けた環境リスク管理におけるエコヘルスと参加型公共政策開発 (英語講演)
EcoHealth and Participatory Public Policy Development in the Management of Environmental Risks to Food and Human Health Security in Laguna Lake Philippines (in English)

Jaime Galvez Tan(ジミー ガルベス タン) フィリピン大学医学部 教授、総合地球環境学研究所招聘外国人研究員

元フィリピン健康省(Philippine Department of Health)大臣(1995年)。健康未来財団法人(Health Futures Foundation, Inc.)理事長。ユニセフ、世界保健機関、世界銀行、アジア開発銀行などの公的機関の顧問を務め、7大陸40カ国にわたって活動している。専門は医学、公衆衛生学。



(10:30~11:00) インドネシア・ジャワ島およびスラウェシ島における金鉱山周辺住民の毛髪中水銀濃度とリスク評価 (英語講演)
Mercury contamination in human hair and health assessment of inhabitants around gold mine sites in Java and Sulawesi, Indonesia (in English)

Yayu Indriati Arifin(ヤユ インドリアティ アリフィン) ゴロンタロ大学地質学科 講師、愛媛大学大学院 理工学研究科 博士課程

2001年よりゴロンタロ大学物理学講師。2005年、バンドン工科大学修士課程修了。2010年よりゴロンタロ大学地質学科講師。2012年、文部科学省国費留学生として来日。現在の専門は医療地質学。



(11:15~11:45) カヤツリグサ科マツバイによる有害金属汚染された水・土壌のファイトレメディエーション (日本語講演)
Phytoremediation of toxic heavy metal-polluted water and soils by *Eleocharis acicularis* (in Japanese)

榊原 正幸(さかきばら まさゆき) 愛媛大学理工学研究科 教授、アジア・アフリカ交流センター長、防災情報研究センター アジア・地域防災情報ネットワーク部門長

専門は環境地質学、医療地質学および環境汚染修復学。1987年、北海道大学大学院理学研究科博士課程修了(地質学・鉱物学専攻)。1988年、愛媛大学理学部助手。2005年より現職。



(11:45~12:15) 福島放射性セシウム除染を目的とする機能性ゼオライトの開発 (日本語講演)
Development of Magnetic Na-P1 Type Zeolite for Radioactive Cs Decontamination in Fukushima (in Japanese)

青野 宏通(あおの ひろみち) 愛媛大学大学院 理工学研究科 物質生命工学専攻 准教授

専門は無機材料化学。新居浜工業高等専門学校助手、愛媛大学工学部助手、講師、助教授を経て2007年4月から現職。



(12:15~12:45) 環境問題としての感染症 ~琵琶湖のコイヘルペス感染症から学んだこと~ (日本語講演)
Infectious Diseases as a Global Environmental Problem—Lessons from the Study on KHV Diseases at Lake Biwa (in Japanese)

川端 善一郎(かわばた ぜんいちろう) 総合地球環境学研究所 名誉教授・元プロジェクトリーダー

東北大学理学部助手、愛媛大学農学部教授、京都大学生態学センター教授を経て、2005年から総合地球環境学研究所教授。2012年3月、同研究所を退官し、名誉教授。専門分野は微生物生態学、水域生態系生態学。



(14:30~15:00) シベリアの自然と人 ~温暖化と水循環変化が陸域生態系と地域社会に及ぼす影響~ (日本語講演)
Nature and Human being in Siberia — Impacts of Global Warming & Water Cycle Changes on the Terrestrial Ecosystems & Regional Society — (in Japanese)

榎山 哲哉(ひやま てつや) 総合地球環境学研究所 准教授・プロジェクトリーダー

生態水文学・水文気象学が専門。名古屋大学大気水圏科学研究所助手、名古屋大学地球水循環研究センター助教授および准教授を経て、2010年4月より現職。



(15:00~15:30) 気候・環境変動下における生活安全保障:マダガスカル事例 (英語講演)
Livelihood Security in a Changing Climate and Environment – Case study of Madagascar – (in English)

Bam H.N. Razafindrabe(バム H.N. ラザフィンラベ) 琉球大学農学部 亜熱帯農林環境科学科 准教授

2007年、愛媛大学大学院連合農学研究科博士課程修了。2007年、京都大学大学院地球環境学堂JSPSポスドク研究員。2009年、横浜国立大学大学院環境情報研究院グローバルCOE研究員。2010年、総合地球環境学研究所上級研究員。2012年4月より現職。災害リスクマネジメントと総合流域管理が専門。



(15:30~16:00) サヘル地域の人々による実践可能な砂漠化対処技術を目指して (日本語講演)
Practical techniques to cope with desertification for local people in the Sahel (in Japanese)

田中 樹(たなか うえん) 総合地球環境学研究所 准教授・プロジェクトリーダー

ケニア・ジョモケニヤツタ農工大学講師(1983~1987年、JOCV)、京都大学農学部助手(1990~1999年)、京都大学大学院農学研究科助教授(1999~2002年)、同大学院地球環境学堂准教授(2002~2011年)、ベトナム・フエ大学名誉教授(2012年~)。2011年より現職。専門分野は境界農学。

特別企画・音楽で楽しむ二次会「松山・京都：文化の街の音楽共鳴 ~地球環境の未来を描く音楽会~」

懇親会の二次会(19:30頃~)では、シンポジウムの「デザート」として音楽会を行います。京都を拠点に活躍中の若手音楽家の生演奏を、お飲み物を片手にお楽しみ頂きます。生演奏を聴きながらシンポジウムを振り返り、地球環境の未来を描く本企画。お気軽にお越し下さい!



フルート 田 呈媛(てんでいえん) 京都市立芸術大学大学院 音楽研究科 博士課程

瀋陽音楽学院付属中学校を経て、瀋陽音楽学院管弦系フルート専攻を卒業。2004年、黄河科技大学音楽学院フルート科講師。2006年9月、京都市立芸術大学大学院研究留学生として来日。2011年3月、同大学院音楽研究科修士課程修了。大学院賞受賞。京都府名誉友好大使。



ピアノ 金田 仁美(かなた ひとみ) 京都市立芸術大学大学院 音楽研究科 博士課程

京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。第2回フォーレ国際ピアノコンクールにおいて審査員満場一致の第1位。第19回吹田音楽コンクールピアノ部門第1位。第13回イル・ド・フランス国際ピアノコンクール第3位をはじめとする多数のコンクールで入賞。

会場: Y's Cafe (一番町井出ビル1階)



<曲目> カッチーニ: アヴェ・マリア、ショパン: ロッシーニの主題による変奏曲、コダール: ワルツ ほか <入場料> 500円 (ワンドリンク付き)

***事前申し込みは不要です。どなたでもご参加いただけます。**

お問い合わせ: 愛媛大学理学部地球科学科 斉藤哲 (電話: 089-927-9647、E-mail: saitotetsu@sci.ehime-u.ac.jp)